

平成29年度 高校生交流会、開催！

現在、当館では高校生・大学生の入館率が低調となっています。県の条例や計画が目指す地域社会実現のため、高校生の力が必要と考えています。

高校生特派員制度とは…？

・次世代を担う若い世代に芸術文化への興味関心をもってもらうように、同じ世代の学生(高校生)に美術館の情報発信をしてもらい、積極的に美術館に足を運ぶような気運の醸成を図るとして昨年度つくった制度です。

(昨年度に引き続き、今年度も水戸市の高等学校と連携を図ります。)

平成29年度高校生特派員参加人数…89名 (7月14日現在)

平成29年度高校生特派員参加学校数…10校

○ 高校生特派員による「交流会」を開催しました。

【日時】 7月14日(金)15:30~17:00

【場所】 茨城県立文化センター集会室

【参加校】 茨城県立水戸第三高等学校 美術部3名、美術部顧問 谷島直美教諭
水戸葵陵高等学校 美術部2名、美術部顧問 菅谷一貴教諭

(当初参加予定の茨城県立水戸第一高等学校、茨城県立緑岡高等学校、茨城県立水戸商業高等学校、茨城県立水戸桜ノ牧高等学校は、高校野球応援などのため欠席となりました。)

【話し合いテーマ】

「文化芸術の振興を若い世代の方々に普及啓発していくためには」



「SNS で展覧会等のおもしろさを積極的に発信してはどうか」、「近美の HP を『お気に入り』に入れ、活動を実践してはどうか」、「若い人が集まる場で PR してはどうか」、「来館したお客様にちょっとしたプレゼントなどを渡すといいのではないかな」等、参考となる意見が数多くありました。

意見交換のあとは、特派員カードや任命状などを渡しました。

平成30年1月中旬頃まで当館は休館しておりますが、リニューアルオープンに向けて若い世代の情報発信に取り組んでいきます。

次回の交流会は、秋に行う予定です。